



# 第18回ボランティア感謝の集い



2月6日(月)「第18回ボランティア感謝の集い」を開催しました。年長者の里には、1年に延べ3000名以上のボランティアの皆様が訪れ、施設の運営を支えてくださっています。日頃の感謝を形にできればという思いの集い、皆様お楽しみいただけでしょうか。

## 会場を北九州八幡ロイヤルホテルへ 移し2年目の集い

会場を大宮会館から北九州八幡ロイヤルホテルに移し2年目の今年、昨年よりも更に多い304名のボランティアの皆様そしてご来賓の皆様をお迎えすることができました。

新しく参加された10の団体様や、学校を終えて駆けつけてくれた小学生のボランティアのお子さんも加わり、今年も賑やかな式典として懇親会となりました。

式典では、感謝を片手に法人歌「幸ふる里・年長者の里」をご出席者の皆様全員で歌いました。

## 北橋市長始め、たくさんのご来賓の方から温かなエールが…

方副理事長挨拶のあと、福宮八幡東区長、直木賞作家の花木隆三先生をはじめ、たくさんのご来賓の方から、ボランティアさんへ温かく楽しい励ましの言葉が贈られました。

また、長くボランティア活動を継続してこられた個人1名、団体4団体の皆様には、表彰状と金一封をお渡しし代表者の方にご挨拶を頂戴しました。「喜んでもらえてやりがいを感じる、今後も続けていきたい」という言葉を、職員一同大変心強く拝聴しました。

(ケアハウス八幡 施設長 春本孝志)



お客様へのあみやげは特別ゲスト寺嶋カタエ先生(91才)の一代記。これを始め、北九州の道楽代記がある、と方副理事長オススムの一言です

平成二十五年年度 感謝状贈呈者	●個人の名	●団体の名
増田 智一 様	一発の会	
	ひまわりの会	
	代表 津上 正史 様	
	代表 山本智あ子 様	
	代表 山本智あ子 様	
	代表 森野 あ子 様	
	代表 丸丸 様	
	代表 藤村 様	
	代表 藤村 様	
	代表 藤村 様	

# 懇親会スナップ



「ボランティアの集い」懇親会

北橋市長、そして北九州の「伝統の女傑」寺嶋カタエ先生(91才)からボランティアの皆様へ熱いメッセージをいただきました。



たくさんのお客様の熱気溢れる懇親会場



特別のお楽しみ抽選会くじを引くご来賓の方の手に注目が集まります。



## 帯状疱疹(たいじょうほうしん)を知っていますか?

年長者の里 たつのおとしごクリニック  
耳鼻咽喉科 森尾 崇

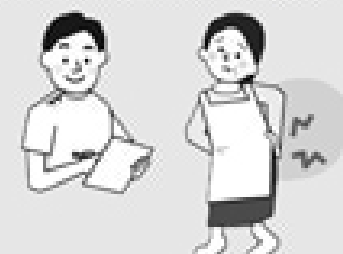
体の片側に、痛みを伴う「赤いブツブツ」や「水ぶくれ」ができる疾患で、実は水ぼうそうウイルスが原因です。知覚神経の走行に沿って発疹が出るので、ぐるりと髪を掻いたようになります。方言では「刺き」「やぶ」「たぶ」「たん」等とも呼ばれます。

子どもの頃に水ぼうそうにかかった後、ウイルスはそのまま神経の根元に潜み、ほとんどの人が持ち続けています。その後、何年も経過して加齢や病気の後などの体が弱っている時に、潜んでいたウイルスが再び力を取り戻して、帯状疱疹が起こるのです。体調を崩し暑い季節の変わり目に多いといわれています。前兆として、違和感やビリビリした痛み

を感じる場合があります。もしかかってしまったら、栄養と睡眠を十分にとり安静にし、過度な疲労やストレスを避けましょう。冷やすとウイルスが活性化するので、暖めると良いといわれています。通常は皮膚の症状が治まり、かさぶたになっていくと、痛みも消えます。

最初から痛みが強い場合は、ビリリとした神経痛が後遺症として残る場合があります

が、早期治療により、防ぐことが可能です。皮膚の表面だけでなく、奥の方からも痛みを感じることもあります。痛みを伴う発疹が出たら、早めにかかりつけ医に相談しましょう。ちなみに、ぐるりと一回回ったら死んでしまうというのは迷信ですのでご安心を。



### 年長者の里 たつのおとしごクリニック

院長 小野隆生

診療科 : 内科・神経内科 (ものわり科/馬車)  
耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

診療時間 : 月～金 9:00～12:00 14:00～17:00



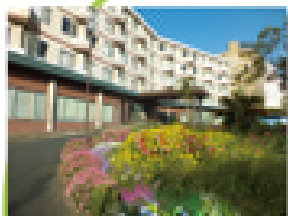


# いきいき広場

— Let's enjoy life in elder's hometown —



## 穴生だより⑨



暖かい季節を迎えました。  
パレス穴生の玄関先でも様々なお花が出現してくれました。入居者の方々の部屋や上の食堂から見下ろす眺めも特別だそうです。

よく見ると、花だけではなく野菜や果物も目にすることができます。今の季節は、玉ねぎ、ニンニク、ジャガイモ、イチゴーなどバラエティ豊かで、収穫が楽しみです。ご利用者様のもとにうれしい食事となって並ぶ日も近いと思いますので、お楽しみに！

(パレス穴生 菊永圭一)



## なつかしの映画

1月22日 有志のご入居者様を誘って、小倉井筒屋バスターホールへ1958年公開の映画『この天の虹』を見に行きました。

この映画は、東洋一の製菓所と評判の八幡製菓所が舞台、笠智衆・田中絹代などの名優が出演しています。

入居者の皆様には、「昔、製菓所で働いていた当時を思い出して涙が出た」「地元が八幡なので懐かしい気持ちで胸がいっぱい」と大 استقبالでした。

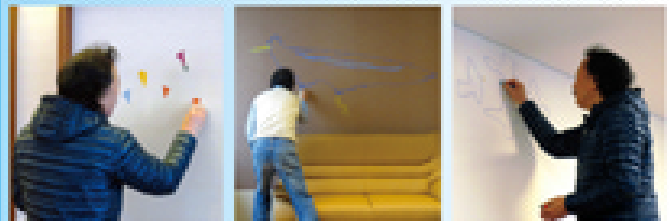
(西村 金田大志)



## 黒田征太郎氏 ライブペインティング

### IN 年長者の里 小倉

4月23日年長者の里 小倉(東館)の完成から1ヶ月、イラストレーターの黒田征太郎氏がオイルパー(油性クレヨン)を片手に完成されました。八幡東区の山王デイサービス、八幡デイサービスに続いて、ご利用者の前で絵を描いていくライブペインティングを行っていただきました。



早速画材を広げ始める黒田氏。

「黒田さん、もう帰くんですか？」

「うん！」

いきなりライブスタートです！

隣でご利用者様がカラオケを楽しまれる中、一緒に歌を口ずさみながらの制作。グループホームでは、壁に命を吹き込むようなようすを皆さん横って觀賞されていました。

「うわー、すごいねえ」「綺麗だねえ」

目の前で絵が生まれていく光景に歌

声を上げご利用者のお家は壁画の笑顔でいっぱいです。

周りの皆さんと談笑しながら描かっていた黒田氏。

「懐ね、若い頃からおばあちゃんと同じするのが好きでねえ。」

「あっ、僕ももうおじいちゃんかな(笑)」最後は皆さんで記念撮影。

とても暖かい時間が流れていました。

年長者の里 小倉(東館)に新たな魅力が誕生した一日でした。

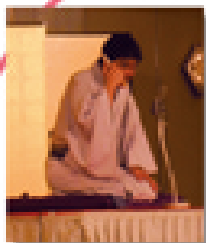
(企画部 大西輝彰)

制作終了後、黒田征太郎先生の陣りは、ご利用者の皆さんの笑顔でいっぱいでした。



北九州芸術祭のライブペインティングで選ばれた黒田征太郎氏の作品「帰国」を譲り受け、エントランスに飾っています。

## 新春落語で初笑い



1月30日 職員とご希望の入居者様でリーガロイヤルホテル小倉で開催されたNTTユーザ協会主催新春トップセミナー(三遊亭歌之介師匠の講演会と落語)に参加しました。

NTTユーザ協会は、芳賀理事長が北九州支部の会長を務める公益財団法人で、新年の恒例行事として、ここ数年はトップセミナーに落語家がゲストとして招かれています。今年はご利用者様に声をかけていっしょに参加し、声を立てて笑う時間を過ごしました。北九州で華やかな話を聞く機会は、なかなかなく、参加された皆様は貴重な経験を講義されているようでした。

(山王デイサービス 松岡真子)

## 広報室より

大蔵の町の朝の風景が好きです。

徒歩で通勤する職員が毎朝目にする光景。神社の長い石段の下で立ち止まってあそびする人、石段の途中から、上を見上げてあそびする人、感謝の気持ちを忘れない人々の気持ちが伝わる光景に胸が伸びるそうです。

車通勤の職員、小学生の通学を見守る地域の人々、通りすがりの人や車にも笑顔で合図をしてくださいませ。

毎朝目にする朝の光景に、大切なものがたくさん詰まっているような気がして、大蔵の町がなあとしみじみ感じます。

(広報室 久和尚子)

特別養護老人ホーム 白鷺の電話番号が5月21日より変わりました！

新しい番号は **093-932-1177** です。